

## いしかわ教育総研 第11回公開研究講座

## 「環境教育講演」・学習会

日時 2012年8月28日(火) 14:00~16:00

会場 金沢労済会館3階ホール

参加者 教育総研17人、県教組24人、一般12人

合計 53人

講師 コープふくしま専務理事 野中俊吉さん

演題 「住民の生活環境をとり戻したい！

—原発事故による放射能汚染に向き合って—



教育総研第4研究「環境教育」部会は、12年度から、県教組環境教育推進委員会と合同して研究活動を進めてきています。公開研究講座を開催するにあたって、「環境教育」部会では、

3.11の大震災による原発事故の被害から、ぜひ福島県で放射能汚染に向き合っている人の話を聞きたいということから、コープふくしまの野中俊吉専務理事の講演・学習会を行うことになりました。

公開研究講座の開催の前に、県教組の環境教育支部担当者会を開催し、全支部からの参加者を確保することができました。教育総研の研究員、県教組組合員に加えて、生協関係者など一般の参加者12人の参加があり、合計53人の講演・学習会となりました。

講演ではスライドを使ってコープふくしまが放射能汚染に向き合って、住民の生活を取り戻すために、どのような活動をしてきたかについて話をされました。

生協組合員や家族は、放射能の影響について不安でどうしたらいいかわからない状態が続いていた。それに答えるためにコープでは、安全・安心の食生活の説明会を行ったり、集塵装置のついた機械で除染したりするなどする活動を行っていることが報告された。講演のあと、コープふくしまが住民のために行った活動について、わたしたちがどのように考えていくかについて等の意見交流がありました。

